愛知東邦大学　シラバス

開講年度(Year)	2025年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	関係行政論		
担当者(Instructors)	西尾 敦史	配当年次(Dividend year)	3
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

公認心理師に求められる法律・制度の知識を学ぶ。公認心理師は多分野（保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働）での活躍を期待されているため、心理学の専門知識・技術のみならず、これらの分野の具体的な現状を認識しておくことが大切となる。この授業では各分野の法律・制度の基本的内容を順次学習しながら、公認心理師の社会的な役割や関係性を広い視野から理解することを目指す。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	講義を中心にすすめるが、各回の課題（ワーク）テーマについてアイディア出しのグループワークを行ったり、意見発表や共有のためのディスカッションを行う。 授業回の二分の一を超えない（7回以下）範囲で、オンライン（リアルタイム）で行うことがある。対面授業と同様の講義の質、双方向コミュニケーションを確保する。授業資料（教材）、課題については、すべてLMS上におく。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	法・制度の基本	法・制度の社会における基本的な役割について理解する。	□
第2回	医療全般の法律・制度	保健医療分野に関係する法律・制度のうち、医療全般について理解する。	□
第3回	精神科医療の法律・制度	精神科医療や精神保健に関わる法律の歴史を理解する。	□
第4回	地域保健・医療の法律・制度	自殺対策、アルコール対策、母子保健の基本の理解、保健所、市町村、精神保健福祉センターの役割を理解する。	□
第5回	児童福祉の法律・制度	児童虐待の種別、児童虐待防止法の特徴、児童相談所の相談援助活動の流れ、児童福祉施設ごとの特徴を理解する。	□
第6回	障害者・障害児福祉の法律・制度	障害者基本法の概要、害者権利条約の内容、障害者総合支援法の概要、自立支援医療、障害児の施策の流れ、障害者差別解消法の概要を理解する。	□
第7回	高齢者福祉の法律・制度	日本の超高齢社会の概要、高齢者のための医療制度、介護保険の概要、地域包括ケアシステム等について理解する。	□
第8回	教育分野に関係する法律・制度	教育に関わる法律、児童福祉に関わる法律、スクールカウンセラーの守秘義務、子どもの権利について理解する。	□
第9回	刑事に関係する法律・制度	刑法第39条の内容、司法システムと医療システムの関連、ストーカー規制法の概要、心身喪失者等医療観察法の成立の意義と措置入院制度との相違等を理解する。	□
第10回	家事に関係する法律・制度	夫婦間紛争とDV問題、親権とそれをめぐる紛争、面会交流とそれをめぐる紛争、被虐待児童を守るための施設収容許可、成年後見制度について理解する。	□
第11回	少年非行の法律・制度	非行少年の取り扱いの理念や流れ、家庭裁判所における審理、少年鑑別所の鑑別・観護処遇・地域援助、少年院に矯正教育について理解する。	□
第12回	産業・労働分野に関係する法律・制度	産業・労働分野において法令・制度が重要となった経緯、衛生管理体制の概略と関連法令、心の健康の保持増進に係る主な制度と関連法令を理解する。	□
第13回	雇用に関係する法律・制度	雇用に関係する法律や制度を理解する。	□
第14回	労働安全・心の健康に関係する法律・制度	心の支援に関する全体像を法律や制度の観点から把握し、国民からの期待や社会的使命を理解する。	□

第15回	関係する行政・法律・制度に関するまとめ	授業をふりかえり、今後の心理的支援における関係行政・法制度を展望する。	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

予習：各回の授業の課題テーマに関して、配布資料を参考に、書籍、メディアやインターネットなどで調べ学習を行い、情報を収集し、関連する知識を得ておく（2時間）。 復習：各回の授業後、課題テーマに対する意見共有・ふりかえりを踏まえて、自分自身の意見・見解をまとめておく（2時間）。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

毎回の授業の課題テーマに関する意見発表・全体での共有・ふりかえりを踏まえて、コメントを行う。次週の授業において、次のテーマへの関連する視点やポイントについて提示する。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◆ 2019人間健康DP1	人びとの心理的支援にあたって理解が必要な法制度に関する専門的知識・実践的能力を身につけている。
主体性	◇ 2019人間健康DP3	心理的支援が期待される多分野（保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働）において、自発的に人々と協働して地域貢献ができる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験（in-class exam)	その他(Other)
			50%	50%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

各授業回ごとに、Teams上に、授業内課題、小テスト、および記述式課題を掲載するので、授業翌週回までに提出すること。

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	授業で配布する	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	元永 拓郎（2024）『第23巻 関係行政論（公認心理師の基礎と実践)』遠見書房	978-4866161853
2	一般財団法人日本心理研修センター監修（2019）『公認心理師現任者講習会テキスト［改訂版］』	978-4772417211
3	Francis Fukuyama（2020）『新版 歴史の終わり〔上〕〔下〕: 歴史の「終点」に立つ最後の人間』三笠書房	978-4837958000
4	伊集院要, 中本忠子（2017）『ばっちゃん ~子どもたちの居場所。広島のマザー・テレサ~』扶桑社	978-4594078195
5	内閣府男女共同参画局「男女共同参画白書」https://www.gender.go.jp/about_danjo/whitepaper/index.html	